
終わらない の元ネタ

遠星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終わらない の元ネタ

【Nコード】

N3533Z

【作者名】

遠星

【あらすじ】

ちよつと聞いてーまた怖い夢みたわ。またか。ていうか毎回夢ネタはイタイよ。急に開始。突飛な現象。嫌な才チ。

(前書き)

終わらないの元ネタです。まともじゃなく書けばこうなる。

口語なので軽いです。

まともを書いてる方もたぶんオチは同じなので、すいません。

ちよつと聞いてー、また怖い夢みたわ

またか。ていうか毎回夢ネタはイタいよ。

イタいとか言われても…嫌マジで酷かったんだって！
なんか、夜なんだけど、いきなり洋館に着くのよ。

いきなりかい！

まあ、夢だから（笑）

でね、私以外にも10人くらい人がおつてー、あ、うんなんかホテルのロビーちつくなところに。

洋館はホテルだったのです。 完

イヤ、怖い話違うね、ソレ。

うん、嘘です。まあ、洋館の中は、こうホテルっぽい高級そうな応接セットとシャンデリアとかある部屋でした。

で、探検しようてか、家主に文句言いに行こうというかみんなで洋館奥に進むんだけど、

窓のない薄暗い廊下をね、ズンズン進むとでっかい両手開きの扉が

ありまして。

怪しさ超特急だね。

うん（笑）もちろん私は列の前から3番目位にいたよ。先頭怖いから。

あと、なんでか青年になつてた。夢って不思議ね。

さて、ここからキモイんだよ！

扉を開けるとソコには屋内のくせに噴水があつたんだよ！！しかも透明なピンクい水でてんの。

…ファンシーじゃん。

違うんだよ！なんかこう「羊水」ポイ感じのなんだよ。

なんで「羊水」て言うかというのと、噴水のさ、こう水受け止める「池」っぽい水貯めとく部分あるしょ？

近くによつてそれをのぞき込んだんだよ。

そうするとね、俯せてて顔は見えないんだけど、無数の「赤ん坊」が池のなかで蠢いてるんだよ！

ピンクい液体に浸かった赤ちゃんが大量に這い回ってるの！！

池深さ見た目10cm位なのに、折り重なって大量に蠢いてるんだよ。

物理的にも無理なんだけどさ。怖っ！て思いながらさらに観察すると赤ちゃんみんな指が四本なんだよね。

水中活動してる時点で当然なんだけど「うわ、これ皆人間じゃ無い！！」て思ったら、

探検仲間の一緒に噴水を観察しとったおっちゃん（スーツ眼鏡ダンディー）が
「化け物だ！」て叫んだのよ。

まあ、水中で生きる赤子は間違いなく人外だったろうからね。

うん。でね、「あーおっちゃん、言っちゃったなー」て思ってたなら、おっちゃんの後ろのほうに、細くて長い腕が見えまして。
なんかこう女の人の腕って感じなんだけど、いくつか関節あって全長3mくらい。

長！！！

で、四本指。水棲赤子の関係者ですね。わかります。

これがね、おっちゃんの襟首をこう「糸くず」でも摘むようにピョイツともってね？

長い腕を更に伸ばして、こう「クレーンで荷物を運んでます」って感じで噴水の真上まで移動させて

ゴミ箱にでも捨てるようにポイツと放したんだよ。

おっちゃんギヤーギヤー言ってるのに。

何気ない感じが妙に記憶に焼き付いてるわー。

…大量の赤ちゃんにピラニアに食われるみたいに殺られた？

いや、池ポチャする前にこうね「鯨が顔を出したぞー！」って感じに池から超巨大魚が出てきて「パクン」って丸呑みして、ザバアってまた池に戻ってった。

…ないわー。

うん。なんか質量とかシチュ丸無視。唐突過ぎて目の前で人喰われたのに、

皆(。。(。ポカーンてなってた。

で、呆然としてたらこう「クスクス」って楽しそうな女性の笑い声が聞こえてきてさ。

ちようど噴水の真上くらいの天井から、逆さに女が生えてたんだよ。どっちかって言うと美女。西洋系。しかも裸。あ、上半身だけね！

洋モノホラーだったんだね。で終わり？

いや、この夢の一番非道いところはこれから。

なんでか夢の中の私はこれが諸悪の根源だ。ボス妖怪だ。って確信してさ、

それをやっつけようとするのよ。

噴水部屋はなんでも有りだったせいかな、洋館仕様で甲冑が飾ってありました。

で、槍持ってたんだよね。

さすが夢。ご都合主義だね。てか、逃げなよ。

うん。ご都合主義万歳ですよ！で甲冑から槍を奪って…ぶん投げました。妖怪・天井女に。

実は私「殺られる前に殺る主義」です。

怖いから！攻撃的すぎるから、ソレ！

狙いたがわず、妖怪・天井女に槍がヒットしました。

当たりがよっぽど良かったのか、奇麗に首が飛びまして、血らしいモノを撒き散らしつつ

ゴロンゴロンと床を転がります。

ちよっっ

ぶん投げた槍は首より手前に落ちてましたんで、とりあえず回収。首がもげてても、相手は妖怪。まだ生きてて襲いかかってくるかもしれません。

用心して生死を確認します。

触ったりはしないけど首を観察するとね、

見開かれたままの目が

ゆっくりとこちらをみる

私は

ああ

やっぱり

まだ

死んでない

つかんだままの槍を振りかぶって、その首を突き刺す

穂先が頭を貫通して、また虚ろになった目に安心して

槍を引き抜くと

またこちらを

見ル

槍を突き刺す

抜く

見ル

槍を突き刺す

抜く

見ル

槍を突き刺す

抜く

見ル

槍を突き刺す

抜く

見ル

アア、オワラナイ

て夢だつたんだよ!!!

病んでるよ!!!何があつたのさ!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3533z/>

終わらない の元ネタ

2011年12月12日00時45分発行